

1 事業計画

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
1-1	○工事用車両の走行ルートに関して、県道の北側から枝分かれして市道に分かれる台数や割合をどの程度を想定しているか。また、県道を北上し、高井交差点を右折して市道に入るルートは想定されないのか。【香田委員】	※事業者から、購入土の搬入に最大1日50台程度を想定しており、ルートとしては、原則、県道を南下して県道から工事区域に入ることを想定している旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—
1-2	○物流施設に出入りするトラックの台数が1日延べ3,000台というのは一般的な台数なのか。【棚橋委員】	※事業者から、一般的な物流施設を想定すると、2事業者で1日延べ3,000台はそれほど外れた台数ではなく、周辺住民にとっての安全側で多めの台数設定をしている旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—
1-3	○造成後に土砂災害警戒区域は変わるのか。【上村委員】	※事業者から、ネット工法を採用することで開発区域内に入る造成後のレッドゾーンは全てイエローゾーンに変える予定の旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—

2 環境影響評価の項目及び調査・予測・評価の手法

○ 大気質

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
2-1	○日の木団地の粉じん調査地点(St. D-2)が残置森林の陰になるところにあり、過小評価をしてしまうおそれがあるため、調査地点をもう少し西側に移動させたらどうか。【田中委員】	造成等の工事の実施に伴う粉じんの影響については、予測地点については、粉じん調査地点(St. D-2)で予測した場合、残置森林の陰になり、過小評価されるおそれがあるため、日の木団地と対象事業実施区域の境界のうち、造成により風況の変化が大きいと予測される地点を検討すること。	2(1)

○ 騒音・振動

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
2-2	○環境騒音・振動の調査地点が2箇所で見逃しがあると判断した理由はなにか。特に南側は住宅地が広がっており、老人ホームや病院などもあるため、1箇所で見逃しできるのか。【折本委員】	対象事業実施区域の周辺には、環境の保全等に配慮が必要な施設である病院等が所在していることから、こうした施設への影響を考慮し、必要に応じ調査地点を追加し、適切に予測及び評価を行うこと。	2(2)ア

2-3	○道路交通騒音の測定が 24 時間で平日と休日で 2 回実施すると記載されているが、交通量の多い日・少ない日があるため、ちゃんとデータが取れるような日程で調査した方がいいのではないか。【折本委員】	※道路交通騒音振動については、環境省の「騒音に係る環境基準の評価マニュアル」に従い、繁忙期やイベント等がある特異日を避けた代表的な 1 日を設定する旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—
2-4	○日の木団地の騒音調査地点 (St. N-2) が残置森林の陰になる場所にあり、過小評価をしてしまうおそれがあるため、調査地点をもう少し西側に移動させたらどうか。【田中委員】	建設機械の稼働に伴う騒音の影響について、予測地点については、騒音調査地点 (St. N-2) で予測した場合、残置森林の陰になり、過小評価されるおそれがあるため、日の木団地と対象事業実施区域の境界のうち、造成により騒音の変化が大きいと予測される地点を検討すること。【整理番号 2-1 と関連】	2(2)イ

## ○ 水質

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
2-5	○水質調査地点のうち、河川へ流れ込む水量がかなり少なかったところがあったが、SS はちゃんと測定できるのか。【柳下委員】 ○搬入する土壌はどういった種類のものか。また、現有の土壌との土質の兼ね合いはどうか。【柳下委員】	造成等の工事の実施に伴う水質への影響の予測については、工事計画の詳細や盛土材として搬入する土砂の性状を明らかにした上で、平均降雨強度を近年の日常的な降雨量を踏まえて適切に設定して行うこととし、その設定根拠等を準備書に記載すること。	2(3)

## ○ 風害

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
2-6	○日の木団地に近接する部分が造成によって削られることにより、夜の北風が直に入ることが予想されるため、降下ばいじんの測定地点で風速も追加で観測した方がいいのではないか。【田中委員】	対象事業実施区域の造成により、日の木団地における風況が変化する可能性を考慮して、環境影響評価の項目に風害の追加を検討し、必要に応じ造成前後での日の木団地における風向・風速を観測すること。	2(4)

## ○ 動物・植物・生態系

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
2-7	○哺乳類調査の無人撮影法の記載の中に 1 基を 2 晩設置後回収とあるが、少なくとも最低 2 週間は置いた方がいいのではないか。【保坂委員】	陸生生物 (哺乳類) の調査について、無人撮影法で哺乳類を撮影できる可能性を高めるため、撮影装置の設置期間を可能な限り長く設定するよう検討すること。	2(5)

2-8	○動物・植物・生態系の予測方法に、影響の度合いを定性的に予測する、と記載されているが、度合いというのは定量的なものだと思うので、表現を変えた方がよいのではないか。【保坂委員】	準備書で使用する用語や表現は、市民から誤解を生まないようわかりやすいものとし、専門用語には用語の解説を記載し、できる限り丁寧な記載に努めること。	1
2-9	○開発対象地域にギフチョウは存在しそうか。【保坂委員】	※事業者から、今のところ確認されていない旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—
2-10	○重要種が開発によって対象実施区域内にいなくなったとしても周辺に生息していればよいということか。【斉藤委員】	※事業者から、周辺で確認されていれば影響の度合いとしては小さいと考えられる旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—

### ○ 文化財

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
2-11	○埋蔵文化財包蔵地への影響を定性的に予測するとあるが、定性的にとはどういうことか。【棚橋委員】	準備書で使用する用語や表現は、市民から誤解を生まないようわかりやすいものとし、専門用語には用語の解説を記載し、できる限り丁寧な記載に努めること。【整理番号 2-8 と関連】	1

### ○ 廃棄物等

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
2-12	○森林の伐採木はどのように利用されるのか。【和崎委員】	※事業者から、チップ化などのリサイクルを考えている旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—
2-13	○準備書では、廃棄物の種類ごとの発生量と再使用あるいは再生利用を含めた処理あるいは処分方法を記載していただきたい。また、有効利用等の把握については、定量的に予測をすること。【香田委員】	廃棄物等の発生量、有効利用量等の予測は定量的に実施し、廃棄物等の種類ごとに再使用・再生利用を含めた処理方法及び処分方法並びに発生量を準備書に記載すること。	2(6)